U22 Fukuoka 2022
Japan Bowling Tournament
sponsored by STORM
【 開催要項 】

主　　催　：公益財団法人 全日本ボウリング協会（JBC）、U22
特別協賛　：ストーム社 、株式会社 ハイ・スポーツ社
後　　援　：公益財団法人 日本スポーツ協会 、福岡県教育委員会 、公益財団法人 福岡県スポーツ協会
協　　力　：日本ボウリング機構（JBO）、公益社団法人 日本ボウリング場協会
日本ボウリング商工会 、九州ボウリング連合会
公　　認　：公益財団法人 全日本ボウリング協会（JBC）
主管運営　：福岡県ボウリング連盟

開 催 日　：**2022 年 10 月 22 日(土) 23 日(日)**

会　　場　：**仲原 J ボウル （ 公協 No.140 - 142）**

〒 811 - 2304　福岡県糟屋郡粕屋町仲原 2706　　TEL　092 - 624 - 8556

競技種目　：個人戦
競技方式　：デュアルレーン方式 (アメリカ方式)で実施する。
競技方法　：「 予　選 」1 人 8G (前半 4G ＋ 後半 4G) を投球する。
「 準決勝 」予選 8G の得点により上位 45 名を選出し、更に 4G を投球する。
「 決　勝 」予選、準決勝 12G トータルにより上位 19 名を選出し、決勝 T/M を行う。
(決勝 T/M 競技方法は、別紙参照)

HDCP　：2022 年 4 月 1 日現在の満年齢

	18 歳以上	15 歳 ～ 17 歳	12 歳 ～ 14 歳
男　子	0	5	10
女　子	15	20	25

参加資格　：2022 年度 JBC 登録会員で各加盟団体より選出された、西暦 2000 年 4 月 2 日から、西暦 2010 年 4 月 1 日までに生まれた者。
参加割当　：連盟ごとの参加割当は行わない。(150 名、先着順とする。)
施設使用料　：1 名　12,000 円
競技規程　：JBC 競技規則を適用し、実施する。
同位の裁定　：予選、準決勝で同位が生じた場合、第 133 条に基づき裁定する。
決勝トーナメントで同スコアが生じた場合、9・10 フレームのプレーオフにより勝者を決定する。
尚、決勝トーナメント敗退時の同スコアに関しては、決勝 T/M 進出順位が上位の者を上位とする。

褒　賞　：別紙参照。（褒賞金は、JBC「競技者に対する賞金、出場報酬及び補助金規程」に基づき処理する。）

申込方法　：所定の申込用紙に必要事項を記入し、所属連盟を通じて施設使用料を添えて申込締切日までに下記、大会実行委員会事務局へ申し込むこと。

申込〆切　：2022年9月30日（金）　但し、先着順の為、定員になり次第、締め切る。

送金〆切　：2022年9月30日（金）

申込先　：〒812－0017　福岡市博多区美野島2－5－17　吉弘ビル302号
福岡県ボウリング連盟内　大会実行委員会事務局
TEL　092－433－6165　　FAX　092－433－6166

振込先　：別紙、送金明細書参照のこと。

保　険　：主催者として傷害補償責任等は一切負わない。各自で保険証（写しでも可）を持参し、事故や怪我等に備え補償を受けられるスポーツ障害保険等へ加入すること。

その他

① 納入された施設使用料は、送金締切日以降、いかなる場合も返金しない。
また、自然災害等により大会を中止した場合、旅費・宿泊費の補償はしない。

② 通常のJBC主催大会同様のボール登録を行う為、ボール検査合格証を持参すること。

③ 大会使用ボールの登録は、会場に持ち込んだ全てのボールを登録すること。
登録には、2個目から1個500円の登録料を納入すること。
5個目からは、1個につき1,000円の特別保管料を追加徴収する。
また、原則としてボールの追加登録は認めない。

④ 競技中に参加全競技者の中から無作為にボール検査を実施する。
シフト終了後、主管役員により指名された選手は速やかにボール検査に協力すること。登録していないボールを会場へ持ち込んだ場合、記録は全て無効とする。

⑤ 原則として、ボールの当日検量は行わない。
事前に検査を受け、ボール検査合格証を持参すること。

⑥ 会員証不携帯の場合、今大会のみ有効の臨時会員証を発行する。
申請書に必要事項を記入し、300円の発行手数料を添えて申請すること。

⑦ ボールの持ち込み個数の制限は設けない。
但し、競技フロアへのボールの持ち込みは、1人4個以内とすること。

⑧ 本大会の映像・写真・記事・記録等における個人情報（氏名、年齢、性別、記録、肖像等）は、広報の目的で使用、公開する。また、報道機関に提供することがある。その掲載権、使用権は主催者に属する。

⑨ 本大会開催中、会場内で撮影した写真、映像は、映る人物の個人情報（肖像を含む）及び、プライバシーに配慮し、個人使用の範囲内に限ることとする。
報道目的、企業活動での撮影及び、公開は必ず主催者の許可を得ること。

【新型コロナウイルス感染症予防策について】

① JBCの定める「新型コロナウイルス感染症予防策ガイドライン」に基づいて実施する。参加に際し、選手は大会当日、新型コロナウイルス感染症リスクチェックシートを提出し、予防策ガイドラインを遵守すること。遵守しない場合、大会の参加を認めないので注意すること。

② 大会関係者、参加選手等にIDカードを発行する。IDカードの無い者は、競技会場に入ることは出来ない。

③ 会場へ入場時の検温、「感染症リスクチェックシート」の提出に協力すること。
引率者、同行者も同様とする。

④ 握手や、ハンドタッチ等は禁止とする。
また、ボール拭き、筆記用具の貸し出しは行わないため各自で準備すること。

⑤ 競技中を含め、常時マスクを着用すること。

【 ドーピング検査について 】

① 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。

② 本競技会参加者（18 歳未満の競技者を含む。以下同じ ）は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。18 歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなす。

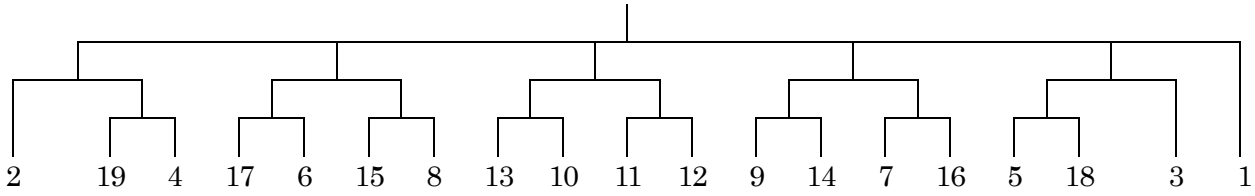
③ 本競技会に参加する 18 歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯すること。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機（JADA）のウェブサイト（https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html）からダウンロードできる。18 歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出すること。なお、親権者の同意書の提出は 18 歳未満時に 1 回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出ること。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後 7 日以内に JADA 事務局へ郵送にて提出すること。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとする。

④ 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（ 尿・血液等検体の種類を問わず ）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。

⑤ 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後 2 時間の安静が必要となるので留意すること。

⑥ 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ･ドーピング機構のウェブサイ（ http://www.playtruejapan.org ）にて確認すること。

【 決勝 T/M 競技方法 】

- 1回戦 ・・・ 準決勝終了時点（12G トータル ）上位 3 名を除く、第 4 位～第 19 位通過の 16 名にて 1G マッチを行う。
- 2回戦 ・・・ 1 回戦の勝者 8 名と、第 2 位、第 3 位通過の計 10 名にて 1G マッチを行う。
- 3回戦 ・・・ 2 回戦の勝者 5 名と第 1 位通過の計 6 名にてシュートアウト 1G を行う。
- 決勝戦 ・・・ 3 回戦の得点上位 2 名にて 1G マッチを行い、優勝者を決定する。

※ 1 回戦、2 回戦、3 回戦での敗退者の順位は、敗戦時の得点にて決定する。